

分析機器部門講習会シリーズ

タンパク定量テクニカルセミナー

近年分子生物学研究においてはタンパク質の正確な定量データ取得が益々重要になってきています。従来のタンパク質定量では特異的な抗体を作成する必要がありましたが、最近の研究では抗体を使用しない質量分析装置での定量 MRM 法が確立されつつあります。今回のセミナーではその代表的装置である 4000QTRAP システムを例に質量分析の基礎情報からアプリケーション事例を紹介します。

- Part 1 セミナー -

2012年8月30日 13:30-15:00

会場：基礎研究棟1階 会議室2

定員：50名

講師：株式会社イービー・サイエックス 質量分析システム アプリケーションサポート 青島理人

<主な内容>

- ①質量分析の基礎と定量 MRM 法情報
- ②4000QTRAP の原理と特長
- ③最強手段 LCMALDI+ESI 法
- ④最新機器情報・網羅的リン酸化タンパク質解析と定量

- Part 2 実機紹介 -

2012年8月30日 15:30-

会場：医系研究棟2号館7階 分子構造解析研究室

定員：15名

4000QTRAP LC/MS/MS システム実機紹介

- Part 3 実技技術相談会 -

2012年8月31日

第一回 10:00-12:00、第二回 13:30-15:30

会場：医系研究棟2号館7階 分子構造解析研究室

定員：各回5名

タンパク定量メソッド作成・解析方法紹介（第一回と第二回は同内容で実施いたします。）

受講対象：希望者

受講料：無料

定員：各Part上記の通り。先着にて受け付けさせていただきます。

申込期間：2012年8月27日（月）正午12時まで

申込方法：E-mailで、件名を「タンパク定量テクニカルセミナー」とし、本文に「所属」「氏名」「内線番号」「参加ご希望のPart(Part3実技技術相談会については希望の回)」を明記の上、taki@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申し込み下さい。

企画：株式会社イービー・サイエックス 芋生 進也

お問い合わせ先：名古屋大学大学院医学系研究科 附属医学教育研究支援センター分析機器部門

瀧 健太郎 (Tel:052-744-2406, E-mail:taki@med.nagoya-u.ac.jp)

*Webでも講習会情報を掲載しております (URL: <http://med.nagoya-u.ac.jp/kiki/>)